

(訂正)「近紫外から近赤外光にわたる超広帯域LED素子を 開発しました」の一部訂正について

平成30年10月3日
フェニックス電機 株式会社

2018年9月11日に当社ホームページに掲載いたしました「近紫外から近赤外光にわたる超広帯域LED素子を開発しました」について一部訂正すべき点がございましたので、お詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトへの掲載をもちまして、下記のとおり訂正させていただきます。

記

【訂正箇所】下線部が訂正箇所であります。

6 ページ

【用語の説明】

【訂正前】

◆近赤外光

赤外光（赤外線）のうち、波長が780nmから1400nmの光を、特に近赤外光と呼ぶ。NIRあるいはIR-Aと記載されることもある。今回開発した素子の最短発光波長は1200nmであり、近赤外光の範囲に該当する。

【訂正後】

◆近赤外光

赤外光（赤外線）のうち、波長が780nmから1400nmの光を、特に近赤外光と呼ぶ。NIRあるいはIR-Aと記載されることもある。今回開発した素子の最長発光波長は1200nmであり、近赤外光の範囲に該当する。

以上